

「公共施設等LED照明リース」提案書評価基準

評価項目	審査事項
事業遂行能力	プレゼンテーションはわかりやすく、提案内容に具体性、実現性があるか。
	同種の事業、契約実績が多数あり、適正な契約履行が行われているか。特に100施設規模の公共施設を短期間で完工した実績があるか。
	リース会社は長期に渡り、安定的に事業執行できる経営状況であり、計画通りの事業執行を行う能力を有しているか。
	過去の実績等を鑑み、リース照明及び工事全般に対する詳しい専門知識を持ち製品の調達、工期の遵守を確実に且つ迅速に行う能力・体制を有しているか。
施工等管理	提案内容は、具体性がある実現可能な体制、工程となっており、期限内に早期完了が見込めるか。
	適正な施工監理により、品質管理、安全管理に配慮され、関係法令を遵守した信頼性がある提案内容か。
使用機器	提案製品は、累積製造数、販売実績等を十分有し、仕様書に準じた製品であり、照度等の性能は十分か。
	提案製品及び工法は、品質、安全性を十分確保できるか。アスベスト対策など環境法令に抵触することはないか。
維持管理	製品に関する不具合、事故及びトラブル等が発生した場合に、迅速に対応できる体制及び対策が確保されているか。
	リース期間中の保証が確実に実行される体制になっているか。
	将来的な維持管理を見据え、汎用性のある製品で次の設備更新や管理に配慮した提案内容か。
事業効果	電力消費量やCO2排出量の削減等に関する提案について、LED化による効果として具体性・妥当性があり、消費電力、CO2排出量の削減効果が十分見込めるか。
	SDGsに寄与した提案内容か。
	各役割に置いて地元事業者の活用等、地域建設業の維持、地域経済に寄与した提案であるか。
独自性	本市に有益となる独創的かつ現実的な省エネ提案があるか。
見積金額	発注条件及び仕様の遵守並びに品質や安全性の確保を前提として、提案内容に要する費用は適正で、市の財政にとって有益な価格か。不適切な単価設定でダンピングとなっていないか。